



## コオロギ、トンボいたよ！

みよし 親子向け夜の昆虫観察

みよし市北部の境川源流の昆虫観察会を開いた。写真で、生き物の調査や子ども向けのワークショップなどを行っているNPO法人「みよしの自然環境を守る会」は二十日夜、親子向け

観察会は源流域のある同市黒笹町で行われ、市内の小学校に通う児童とその家族ら約百五十人が参加した。例年は一カ所に集まって観察するが、新型コロナ

ウイルス対策として二組に分けて三密を回避した。昆虫の活動が活発になる午後七時ごろから、昆虫を引き寄せるため明かりをつけ、同会の会員が親子に虫の取り方や生態を解説した。三好丘小一年の江藤嵩将君(七)は「コオロギとイトトンボの二匹を捕まえた」と笑顔だった。

観察会の運営は会員のほか、昨年からは愛知教育大学の三年生が大学のカリキュラムの一環として手伝っており、今年も五十二人の学生が参加した。同会の宮嶋

英一事務局長(七)は「子どもたちに自然の大切さを理解してもらうためには、実際に触れてもらうのが一番。今後も継続したい」と話した。(小野開栄)